

=2026年=

新年のご挨拶

一般社団法人 日本配電制御システム工業会
会長 国分 直人

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

年頭にあたり、平素より当会にお寄せいただきしております皆さま方の温かいご指導とご支援に対し、心から御礼申し上げます。

さて、米国の通商政策による影響が見られるものの、企業の設備投資に持ち直しの動きがみられる等、景気は緩やかに回復しています。経済産業省の生産動態調査によれば、開閉制御装置の2025年度上期の生産金額は3,250億円で2024年同月比+5.8%です。2024年度の生産金額は7,355億円、2023年度比+10.2%でしたので、前年度から引き続いて生産金額の伸長が期待されます。

企業の設備投資意欲が良好な状態を維持する中、老朽設備の維持・更新投資のほか、研究開発投資やデジタル・トランスフォーメーション（DX）推進をはじめとした情報化投資、Eコマースの拡大を背景とした先進物流施設などの建設投資、脱炭素に向けた環境対応投資など、昨今重要性が高まっている投資需要を中心に、引き続き設備投資は堅調に推移していくものと思われます。

一方で、ここ最近は毎年のように配電制御機器の値上げが続いています。昨年も配電制御機器メーカー各社から相次いで改定率が大きい価格改定が発表されました。

世界的なインフレや物価高に加えて人件費の上昇も続いているので、会員各社では製造コストの更なる上昇が避けられない状況にあります。

かかる状況下、当会では所轄官庁をはじめ各関係先に対して現状を説明するとともに協力を要請してまいりますので、皆様方にはこれまで以上の理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、この一年の皆さま方のご健康とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。